



南関中スピリッツ

R3年度南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」 NO.23 (文責 永杉尚久)

玉名工業高校より手指消毒器を寄贈いただきました。

3月16日玉名工業高校より来校され、手指消毒器をいただきました。健康委員会の畠中さんと中嶋さんが代表で受け取ってくれました。



足踏み式で、レバーを押すとLEDランプが点灯し楽しい雰囲気です。また、構造が分かるように作られていて工業高校の生徒さんの苦労や思いが伝わってきます。職員室前の玄関に設置して大切に使用していきます。

本年度を振り返って

令和3年度も残り2週間あまりとなりました。新型コロナウイルスの影響で教育活動は制限を止む無くされましたが、生徒たちの頑張り、保護者や地域のみなさんのご理解とご協力、教職員の団結があり可能な限り取り組むことができました。ありがとうございました。その中で、保護者の皆様にはご心配やご迷惑もおかけしたと存じます。お詫びいたすとともに反省を今後の活動に生かして参ります。

3月24日は修了式を迎えます。1・2年生には、この1年間を振り返って「自分の限界に挑戦できたか？」を問い、それぞれの頑張りを確認したいと考えています。また、次の年度に向けた心構えを伝えたいと考えています。

私自身、南関中学校の1年間でたくさんの経験をさせていただきました。生徒たちとともに過ごす喜びをたくさん味わいました。次年度は、生徒たちの更なる限界への挑戦に期待を膨らませています。

生徒会三役とのミーティングより

学校評価の中で生徒たちから寄せられた意見について、生徒会三役、生徒会顧問と私で話し合いを持ちました。話の内容と対応については次の通りです。

- ①昼休みなどに勉強する場を作ってほしい。→会議室やランチルームを開放する。学級委員会が担当する。
- ②授業中や昼休みの私語が迷惑にならないようにしたい。→各自が自覚し、注意し合う。学級委員会で話し合う。
- ③新しい部活の創設を希望する。→部活の数、生徒数、指導者、場所等考えなければならぬことがあるため4月に回答する。
- ④中庭に花を植えたい。→環境委員会やNVCが中心に活動する。
- ⑤通学路がボコボコで危ない。→気づいたら学校に伝える。学校から教育委員会に改善をお願いする。

今日の論語

子曰く、「学びし時にこれを習う、亦た説まはしからずや。」と。

先生は言われた、「手取り足取りして教わったことを繰り返し練習して自分のものにする、こんな嬉しいことはありません。」と。

私も小学生の時に、逆上がりの練習をしたことを思い出します。なかなか上手くできず、手にまめをつくりながらやりました。何日かかかってできたときの喜びは今でも忘れません。学ぶことの喜びを大切にしていきたいものです。